

平成 30 年 6 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 29 年 11 月 2 日

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ
 コード番号 4847 URL <http://www.iwi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井関 司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営管理本部担当 (氏名) 垣東 充 TEL (03)6222-7015

四半期報告書提出予定日 平成 29 年 11 月 7 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 6 月期第 1 四半期の業績 (平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 6 月期第 1 四半期	2,322	40.4	128	239.6	128	243.1	83	313.8
29 年 6 月期第 1 四半期	1,653	—	37	—	37	—	20	—

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30 年 6 月期第 1 四半期	3.16	—
29 年 6 月期第 1 四半期	0.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30 年 6 月期第 1 四半期	8,231	5,522	67.1
29 年 6 月期	8,508	5,647	66.4

(参考) 自己資本 30 年 6 月期第 1 四半期 5,522 百万円 29 年 6 月期 5,647 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 6 月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30 年 6 月期	—	—	—	—	—
30 年 6 月期 (予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成 30 年 6 月期の業績予想 (平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	4,200	10.7	250	0.9	260	△5.4	180	△6.1	6.84
通 期	9,000	6.3	850	21.0	870	13.5	600	9.7	22.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期1Q	26,340,000株	29年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	30年6月期1Q	12,000株	29年6月期	12,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期1Q	26,328,000株	29年6月期1Q	26,340,000株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の国内経済情勢は、緩やかな拡大を続けており、個人消費は雇用環境の改善を背景に底堅さを増し、企業の設備投資は収益の改善によって緩やかな増加基調を続けている、とされています。

当社の主要な事業領域である金融業界、クレジットカード業界においても、キャッシュレス決済の推進や決済手段の多様化等の社会情勢の変化を背景として、設備投資案件に係る商談は堅調さを維持しています。

当第1四半期累計期間においては、売上高は2,322百万円（前年同四半期比40.4%増）、営業利益128百万円（前年同四半期比239.6%増）、経常利益128百万円（前年同四半期比243.1%増）、四半期純利益83百万円（前年同四半期比313.8%増）を計上しました。

金融システムソリューション事業において、大型のシステム開発案件の売上を計上したことにより、売上高は増加しました。この開発案件は、国内のクレジットカード会社向けに、当社が受注した開発プロジェクトの一部を構成するものであり、発足当初からプロジェクト全体としては完成に至るまでには複数年かかることが見込まれています。

当社は、プロジェクトの進捗に合わせて部分毎に開発案件を受注し、受注した開発が完了する毎に売上を計上しています。このように受注する開発案件は、部分毎に内容や規模が異なるため、同じプロジェクトに係る案件であっても時期によって売上高が変わります。今期売上を計上した案件は、そうした案件としても当社としては相対的に大規模な案件といえ、この案件の完了が当期にあたったため、当期の売上高は例年より増加することになりました。

このような背景によって当期の売上高が増加することは当期初より予想されており、今期の事業は計画どおりに進んでいるため、平成29年8月2日付けで公表した業績予想に変更はありません。

また、前期においては一部のシステム開発案件が不採算化したため、営業利益は37百万円に留まりましたが、今期はこうした不採算の案件はありませんでした。対前期比較で利益の増加は著しいですが、こうした事情によるものです。

(金融システムソリューション事業)

金融システムソリューション事業においては、主にクレジットカード会社を中心に、金融業界の顧客に対して、ソフトウェア開発や保守、パッケージソフトウェア及びハードウェアの販売による売上を計上しました。その結果、売上高は2,145百万円（前年同四半期比47.0%増）、営業利益は164百万円（前年同四半期比211.1%増）となりました。

金融システムソリューション事業においては、開発案件毎に受注の規模が異なります。また、案件の各工程において当初の見積を超える費用が発生する可能性があるほか、開発案件ごとに粗利率が一定、一律ではないため、事業全体の利益の変動要因になります。また、システム開発やシステムの更新に併せてサーバー等のハードウェアを販売しており、案件の内容によってハードウェアの売上高が変わります。これらハードウェア等の販売実績による利益額の変動も、事業全体の利益率の変動の要因になります。

(プロダクトソリューション事業)

プロダクトソリューション事業においては、企業組織内部からの情報漏えいを防ぐ当社製パッケージソフトウェアCWAT(シーワット)と、外部からのサイバー攻撃を防ぐ他社製パッケージソフトウェアTraps(トラップス)の販売等によって、売上高は176百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業損失は35百万円（前年同四半期は14百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ276百万円減少し、8,231百万円となりました。うち流動資産は、前事業年度末に比べ340百万円減少し、4,644百万円となりました。これは主に、現金及び預金296百万円の減少があったためです。固定資産は、前事業年度末に比べ63百万円増加し、3,586百万円となりました。これは主に、投資有価証券34百万円の減少があったものの、有形固定資産84百万円の増加があったためです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ151百万円減少し、2,708百万円となりました。これは主に、賞与引当金85百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金171百万円の減少並びに未払法人税等214百万円の減少があったためです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ125百万円減少し、5,522百万円となりました。これは主に、利益剰余金101百万円の減少があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月2日付「平成29年6月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,578,278	2,281,529
受取手形及び売掛金	982,193	962,014
たな卸資産	828,275	803,588
その他	596,094	597,491
流動資産合計	4,984,841	4,644,623
固定資産		
有形固定資産	419,853	504,451
無形固定資産		
ソフトウェア	1,011,355	1,182,353
その他	409,699	279,862
無形固定資産合計	1,421,055	1,462,215
投資その他の資産		
投資有価証券	1,124,299	1,089,791
その他	619,688	591,864
貸倒引当金	△61,629	△61,629
投資その他の資産合計	1,682,358	1,620,026
固定資産合計	3,523,267	3,586,693
資産合計	8,508,108	8,231,317
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	553,378	382,339
未払法人税等	288,014	73,802
賞与引当金	233,803	319,115
役員賞与引当金	17,600	12,323
その他	1,159,203	1,278,764
流動負債合計	2,252,000	2,066,345
固定負債		
退職給付引当金	405,083	402,143
役員退職慰労引当金	19,367	17,558
資産除去債務	54,431	69,448
その他	129,635	153,405
固定負債合計	608,517	642,555
負債合計	2,860,517	2,708,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	559,622	559,622
利益剰余金	3,825,245	3,724,212
自己株式	△6,348	△6,348
株主資本合計	5,222,269	5,121,236
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	425,321	401,179
評価・換算差額等合計	425,321	401,179
純資産合計	5,647,591	5,522,416
負債純資産合計	8,508,108	8,231,317

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,653,887	2,322,076
売上原価	1,311,985	1,771,352
売上総利益	341,902	550,724
販売費及び一般管理費	304,038	422,125
営業利益	37,864	128,598
営業外収益		
受取利息	274	256
受取配当金	400	450
その他	419	520
営業外収益合計	1,094	1,227
営業外費用		
支払利息	168	325
為替差損	304	—
コミットメントフィー	1,102	936
その他	0	312
営業外費用合計	1,575	1,575
経常利益	37,383	128,250
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	3	0
税引前四半期純利益	37,380	128,250
法人税、住民税及び事業税	22,100	64,185
法人税等調整額	△4,843	△19,198
法人税等合計	17,257	44,987
四半期純利益	20,122	83,263

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期累計期間(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,460,047	193,840	1,653,887	1,653,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,460,047	193,840	1,653,887	1,653,887
セグメント利益又は損失(△)	52,823	△14,959	37,864	37,864

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,145,545	176,530	2,322,076	2,322,076
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,145,545	176,530	2,322,076	2,322,076
セグメント利益又は損失(△)	164,356	△35,757	128,598	128,598

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。